

2013年度 日本語 I (表記法)ポスター発表評価表

	要改善(0)	もう少し(1)	よくできました(2)
声量と視線	発表全体を通して、教室全体に声が届かず、後方や端では内容が聞き取れない。聴衆を見ていない。	教室全体に声が届いているが、時々、内容が聞き取れないことがある。発表中に聴衆を見ていないことが時々ある。	教室全体に声が届いており、最初から最後まで内容がよく聞き取れる。発表全体を通して、聴衆を見ている。
熱意	やる気が表現されていない。淡々と発表をこなしているように見える。	やる気がないわけではないが、人を動かすほどの熱意までは表現されていない。	やる気、人を動かす熱意が十分表現されている。
チームワーク	メンバー間でのコミュニケーションがとられておらず、ひとまかせにしている。	メンバー間でのコミュニケーションがある程度とれており、協力して発表をすすめている。	メンバー間でのコミュニケーションがしっかりとれており、よく協力して発表を進めている。
発表時間	発表が規定時間を過ぎた。もしくは大幅に早く終了した。	発表は規定時間内であったが、若干早く終了した。	発表は規定時間内であり、ぎりぎりまで有効に時間を使っていた。
テーマ設定	テーマ設定が、「表記法」で取り扱う範囲からかけ離れている。	テーマ設定は、「表記法」で取り扱う範囲であるが、新規性が乏しく、聴衆の興味を引くものではない。	テーマ設定は、「表記法」で取り扱う範囲であり、新規性もあり、興味深いものである。
素材選び	テーマ設定と調査素材がかけ離れており、この素材を使用しても質・量ともに、調査目的は達成できない。	テーマ設定にある程度ふさわしい調査素材が選択されているが、質・量が不足しており、この素材を使用しても調査目的はそれほど達成できないと思われる。	テーマ設定にふさわしい調査素材が選択されており、質・量も十分で、調査目的が達成できている。
データ整理	調査データの整理が全く行われていない。	調査データの整理が不十分である。	調査データの整理が十分に行われている。
結論のまとめ方	調査が考察に活かされていない。類似の先行研究も探せなかった。	調査を踏まえた考察が行われているが、先行研究と比較されていないので、結論の位置づけが不明である。	調査を踏まえた考察が行われており、その結論が先行研究と比較され位置づけられている。
ポスター内容	ポスターには、発表題目・発表者名・背景・調査目的・調査方法・結論・参考文献等のうち、かなりの部分が欠けており、内容も理解が難しい。	ポスターには、発表題目・発表者名・背景・調査目的・調査方法・結論・参考文献等のうち、いずれかが欠けているが、内容はある程度理解できる。	ポスターには、発表題目・発表者名・背景・調査目的・調査方法・結論・参考文献等の必要事項が載せられており、内容がわかりやすくまとめられている。
ポスターデザイン	メリハリがなく、重要な情報と補足的な情報の区別がつきにくい。	必要な情報はある程度伝わってくるが、情報の配置がわかりにくい。	聴衆の視線の動きを考慮し、重要な情報がわかりやすく伝わるデザインである。

採点者：() 合計 () 点